Pezorock 活動報告トピックス



8/12~14日に開催された「RISING SUN ROCK FESTIVAL 2016 in EZO」(以下RSR) の環境対策活動が終了しました。約200名の ボランティアとともに、ごみ問題についてメ ッセージを発信していきました。

地域で開催されたお祭りでも、地元の美味し)食べ物を頂きながら、7回の環境対策活動 を行いました。(リーダー もが)

RSRオーガニックファーム



11月をもって2016年の活動がすべて終了し ました。RSRでは、収穫したじゃがいもを約 300個、「焼きじゃが」として来場者に無 料配布し、食資源の大切さを伝えました。そ してRSRより回収した生ごみは牛糞と撹拌し、 冬囲いも済ませました。完成した昨年の堆肥 も畑に撒き、来年の準備もばっちりです! (コアスタッフ すみのふ)

^{都市の若者と森林をつなぐ} プロジェクト「NINOMIYA」



今年の薪づくりツアーが終了しました。 春から秋にかけて大勢の方がツアーに参加し ました。活動の合間には白樺樹液のコーヒー を飲んだり、ハンモックでゆっくりしたり、 夜にはウッドキャンドルで温まったりと、木 や自然の魅力を感じられる時間が皆さんに大 好評でした。薪たちは雪の下に眠って1年後 の出番を待っています。(リーダー かい)



夏休みに福島県の子ども達35名が来て、わた したちの新しいフィールド石狩で初めて宿泊 活動を実施しました。「ひみつの森でのおも ンろ探検隊」では札幌の小学生を4回受け入 れ、石狩の自然を使ったアクティビティを増 やせたり、はじめて近隣の農家さんと連携す ることができました。冬にはまた 2 回の受け 入れがあります。(リーダー いずみん)



6月から10月にかけて大雪山国立公園旭岳で8 回活動を行いました。参加者が増加傾向にあ り、去年よりも多くの人々に自然保護につい 道大学で行われたサスティナビリティウィー クなど外部で自分たちの活動を伝えることが 増えました。これからも自然保護について伝 えていきたいです。(リーダー ピングー)



栗山町で里山づくりにはじめて1年を通して 関わり60名が参加ました。苫小牧の森のよう ちえんや小学生の森遊びにも1年を通して毎 週通っています。はじめてこの幼稚園出身の ボランティアが参加しました。

また緊急で台風10号の被災地清水町・南富良 野町で支援活動を行いました。

(コーディネーター ななこ)



7月30日にミライサイクル実行委員会主催の 自転車のルールマナー普及啓発のためのイベ ント「SAPPORO LOVE BICYCLE DAYS」 こ参加しました。自転車のルールを「楽し ハ」ことから伝えるために、「チャリン」と いうおもちゃ銀行券を使用することで各ブー スを楽しむ、ゲーム感覚のイベントに仕上が



広報部では4月にHPをリニューアルしまし た!研修部では 「市町村ナイト」を実施し ており、第六弾占冠ナイト・第七弾小平ナイ トを行いました。各チームのリーダーからな る交流部は事務所で'CLEANDAY'と題して夏 の備品整理や冬支度を行ったほか、交流会や 忘年会を企画し団体内での横のつながりづく

推石 進狩 協市 会境 と教 は育

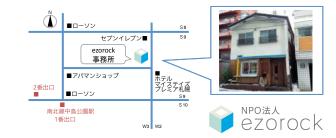
NPO法人ezorock 会員向け情報誌 特別版 2016.12

RockTheLife!ezorock

〒064-0809 札幌市中央区南9条西3丁目1-7 TEL/FAX: 011-562-0081 E-mail: info@ezorock.org

WEB http://www.ezorock.org/ http://www.facebook.com/ezorock/

₩ http://twitter.com/ezorock/



Rock The Life!ezorock



福島県在住の子どもたち35名が石狩へ体験活動に。石狩にある廃校「美登位創作の家」に2泊滞在した。



十人十色のボランテ



公益財団法人北海道環境財団 環境教育推進課 山本 泰志さん

十人十色の子ども達の個性と同 じだけ多様なボランティアの個 性。その接点での様々な瞬間と 変化に、いつも驚きと可能性を 感じています。ありのままの自 分を認め伸ばしてあげ、未熟さ を認識し真摯に他者と自分をみ つめる。そんな機会を生み出す この活動に期待しています!

色々な人が自由に 出入りできたらいい



美登位地区町内会 会長 堀田恵一さん

地域全体で減農薬等に気を配っ ています。今は自然や地域の人 間関係が少ないから色々な人が ここに来てくれるのかなと思っ ている。自然相手に、子ども達 も、若者も、みんなが自由に出 入りできるようにしていければ いいね。

環境教育プログラムの コーディネーターとして期待

石狩市役所

環境市民部環境政策課

石狩市は、豊かな自然環境に 恵まれ、「環境」を学ぶ場と しては最適地と考えています。 この「環境」を様々な視点か ら学べるよう、次代を担う子 ども向けの環境教育プログラ ムを組み立てるには、市と子 ども双方のニーズを把握し、 すりあわせを行うコーディネ ーター役が重要だと考えてい ます。市内でも

project「NINOMIYA」を始め とする様々な環境施策を進め るezorockはコーディネータ ーとして頼もしい限りです。 今後も協力体制を強化し、子 どもたちに新たな環境教育の フィールドを提供したいと考 えています。











自分たちで食材とエネルギー源を調達する炊事プログラム。 1)歩いて近くのお米農家さんでお米をいただく。「よく見ると、白くて小さな花が咲いているん

- 2) 薪割り。子どもでも簡単に割れる機械を使う。割れた瞬間の気持ちよさは格別。
- 3) 有機野菜の収穫。 4) 子どもたちと堀った手押しポンプ式の井戸が2016年に開通。地下水で
- 5) 創作の家へ戻り薪で炊事。空気の性質を踏まえ、薪の組み方を話し合う。
- 6) 豚汁と羽釜ごはんの完成!石狩鍋のことも。

札幌から40分の畑と学校 食やエネルギーのアクティビティ



はかにも樹を使ったプログラムでは、木にもみんなと同じように一本一本個性があることや、うに一本一本個性があることや、ことを知ることが出来る。子どもたちからは「木の枝を折らないようにしよう」「公園に木のいようにしよう」「公園に木のいようにしよう」「公園に木のいようにしよう」「公園に木のいようにしよう」「公園に木のいる。

樹に触れ学ぶ を持って学ぶことば を持って学ぶことが を持って学ぶことが を持って学ぶことが を持って学ぶことが を持って学ぶことが を持って学ぶことが って学ぶことができる。の生態や空気の性質を実感や生産者の思いをはじめ、ちは食やエネルギーの生産とは食やエネルギーの生産が、 . 学 ぶ ただき

Jを教えてもらって R碗一杯分くらいに Uてお米をいただき その後別の農家さ

農山漁村・環境教育 体験フィールド 石狩へようこそ 美登位 創作の家 全国3位の長さを誇る石狩川は、268km、2

札幌と隣接する人口6万人弱の市。明治 には鮭漁で栄えた歴史ある町だ。

> に幌佇か む

ックファ あるのは に見 らん り若の者 行はん 式自炊プログラー んづくりは畑かっ

さんやボランティアスタッフから始める。その中で農家の小林ら始める。その中で農家の小林らが食べるごはんのために薪をのひとつに自炊がある。自分たのひとつに自炊がある。自分たるだも向けの目玉プログラム子ども向けの目玉プログラム く こ と 十 と も ことや、薪になる木が育つのにに見えない手間がかかっているら、土づくりや雑草抜きなど目 の活動を行っている。 者が、堆肥や有機野菜、薪づはここで**年間七〇〇人以上** ファーム」。e z o r o c のは、「はるきちオーガニのは、「はるったのところに



創作の家からは広々とした水田を見 創作の家から歩いて10分弱の「は下ろせる。北海道の1年を感じられ るきちオーガニックファーム」。



2の市町村を通過して海にそそぐ。河口近くには

児童数が最多時で30数名という小さな学校だった。 大人数の活動時には、体育館が食堂に変身



※この活動の一部は、石狩市環境教育推進協議会の一員として、農林水産省都市農村共生・対流総合対策交付金事業として実施しています。 ※この活動は、「公益財団法人北海道環境財団」・「生活協同組合 コープさっぽろ 組合員活動委員会」・「札幌まるやま自然学校」と連携して実施しています。

狩には他 **への子ども** 凹十二日間

□□□一六年は、**八回十二日間の活動にのべ四○○人の子どもたちが参加予定**だ。石狩には他にも全国でも**貴重な天然海岸や**にも全国でも**貴重な天然海岸や**がらも多くの子どもたちが体験からも多くの子どもたちが体験からも多くの子どもたちがからも多くの子どもたちが体験